



遠隔画像診断のご紹介

当院にて行った検査に限ってですが、他院の先生方にもご利用していただきたいと思っておりますので、今月は遠隔画像診断に関してのお知らせです。

当院では2001年6月開院時より、CT、MRIの画像を系列病院である札幌徳洲会病院放射線科の放射線科専門医により遠隔読影をおこなっていただき専門医の読影所見が確認できる状態で、CTとMRIの画像診断を行っております。

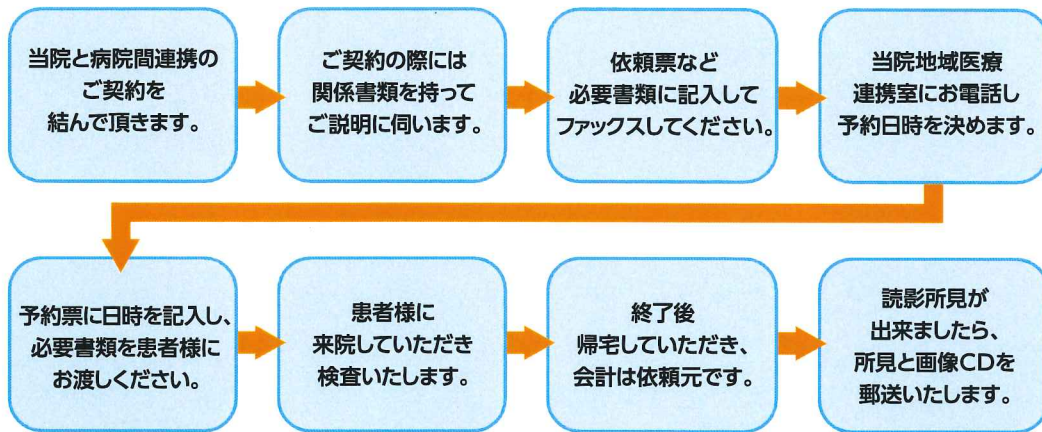
当初は、依頼内容は検査伝票をファックスし画像転送はISDN回線だったために画像転送にも時間を要し、検査所見が出るのに数日かかることもありました。

しかし、数年前に電子カルテ、PACS導入時に遠隔画像診断装置をPSP社に更新したところ、検査所見のファックスや画像送信などの必要がなくなり、所見の返信スピードが格段に速くなりました。札幌病院の業務状況や検査、所見の内容にもよりますが、早いと検査終了後20分位遅くとも翌日には、院内の電子カルテ端末があるところならばどこでも所見の確認ができるようになり、診療上大変役に立ってます。

他院の先生方には、画像CDと読影所見を印刷して郵送などで対応いたしております。ご利用にしましては、病院間連携にてご利用いただくのがお勧めです。

(来月は病院間連携のお知らせをさせていただきます。)

ご利用イメージ



所見例

CT 検査報告書	
検査日	2016/12/14
検査種別	CT
患者ID	生年月日 [REDACTED] 79 歳
患者名	性別 F
カナ名	検査部位 肝～骨盤腔CT(P+E)
作成医 片田 竜司	作成日 2017/01/17
検査目的	
腹痛、R/O腸閉塞等。スクリーニング 腎機能出てから造影です。	
所見	
1. 上部小腸の拡張が認められ、小腸イレウスが疑われます。臍部腹壁下で拡張した小腸の径変化が認められ、この部位での過過腸音が疑われます。絞扼性イレウスを疑う所見は指摘できません。腹水は骨盤部に少量認められます。 2. 肝実質densityは低下し、脂肪肝が疑われます。肝臓を数個認めます。 3. 両側腎臓を認めます。 4. 脾・胆・膵に明らかな異常を認めません。	

